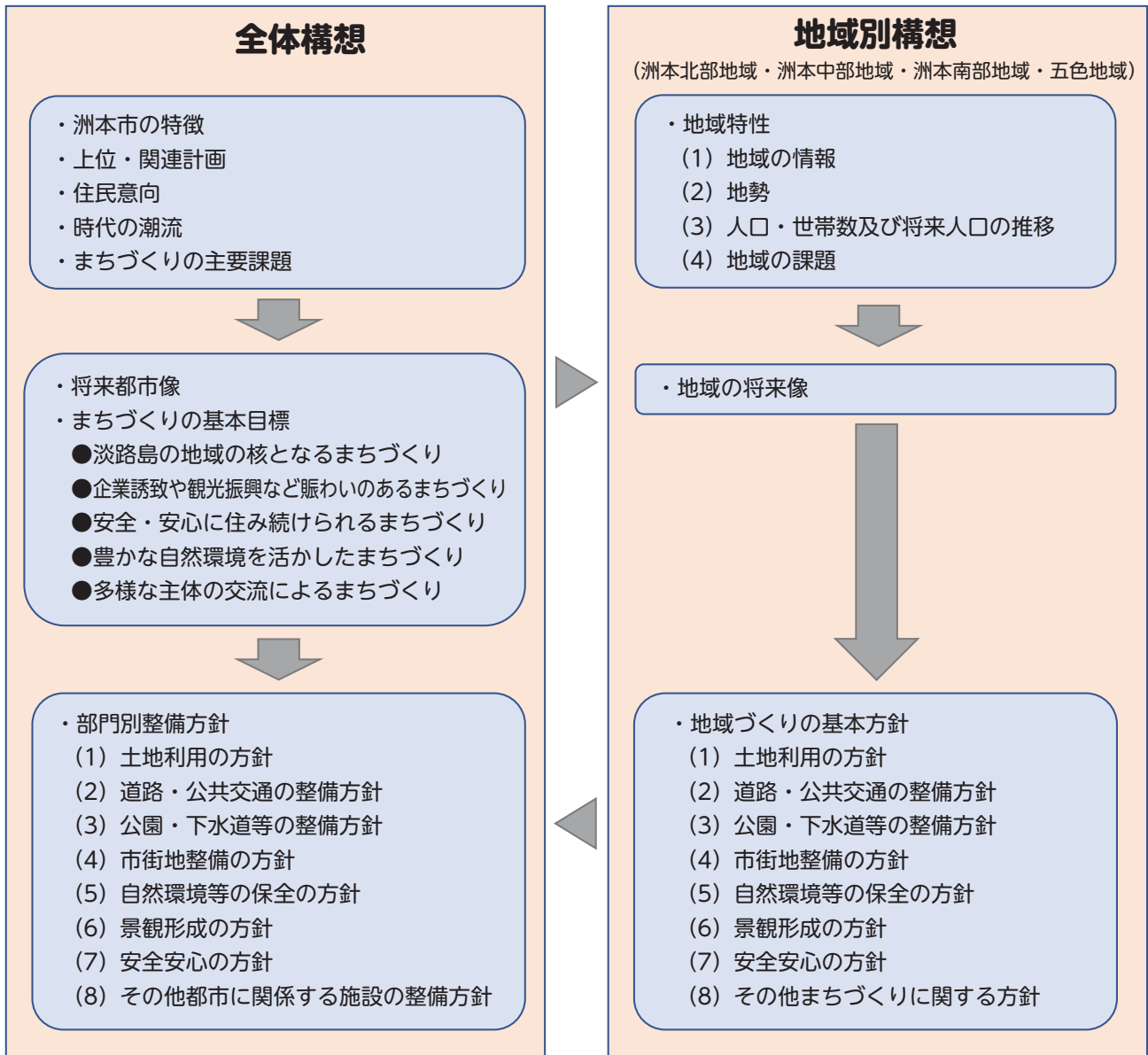


第5章 地域別構想

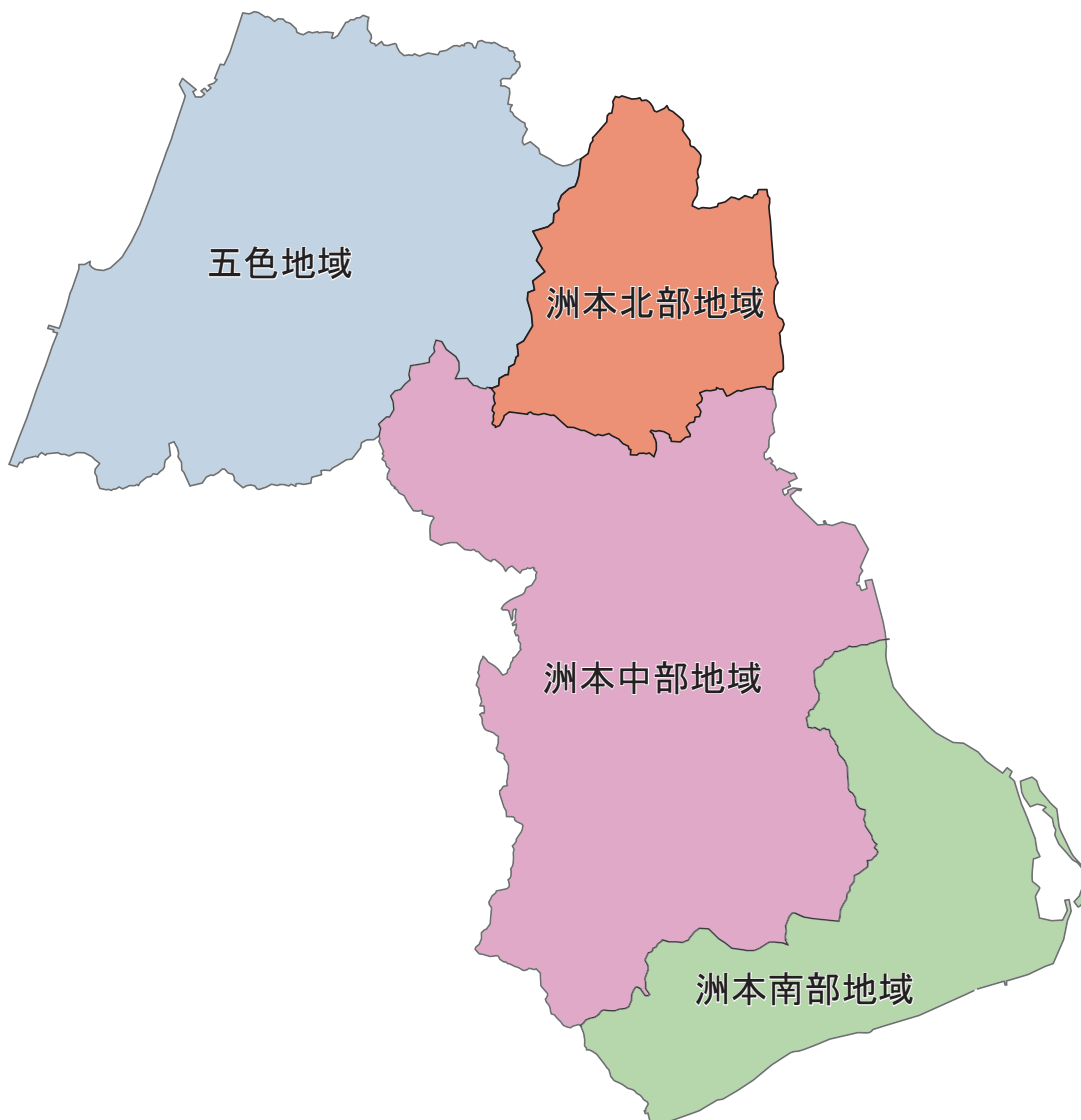


地域別構想は、全体構想の内容について、5つのまちづくりの基本目標をもとに横断的に結びつける役割を持つとともに、これからのまちづくりの主役である地域住民が、まちづくりを身近な問題としてとらえ、参画と協働により、住みやすく活力ある地域づくりを行うためのガイドラインの役割を担うものです。このため、市域を特性に応じて4つの地域に区分し、地域ごとのまちづくりの方針を示します。



■地域区分

地域区分	該当地区	地域の特性
洲本北部地域	中川原・安乎	<ul style="list-style-type: none"> ・非線引き都市計画区域内にあり、用途地域の指定はありません。 ・内陸部は農地及び丘陵地により構成されています。 ・海岸域には良好な自然景観が広がります。
洲本中部地域	内町・外町・潮・物部・上物部・小路谷・千草・加茂・大野・納・鮎屋	<ul style="list-style-type: none"> ・非線引き都市計画区域内にあり、市街地には用途地域が指定されています。 ・中心市街地には商業・行政などの多様な施設が集積しています。 ・郊外部には農業地域、森林地域が広がっています。
洲本南部地域	上灘・由良	<ul style="list-style-type: none"> ・非線引き都市計画区域内にあり、由良地区の一部に用途地域が指定されています。 ・森林が大半を占めています。 ・海岸域とその付近の山林は瀬戸内海国立公園に指定されています。
五色地域	都志・鮎原・広石・鳥飼・堺	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画区域外となっています。 ・内陸部は農地及び丘陵地により構成されています。 ・地区ごとに住宅地が形成され、企業用地が造成されています。 ・海岸域には良好な自然的景観が広がります。



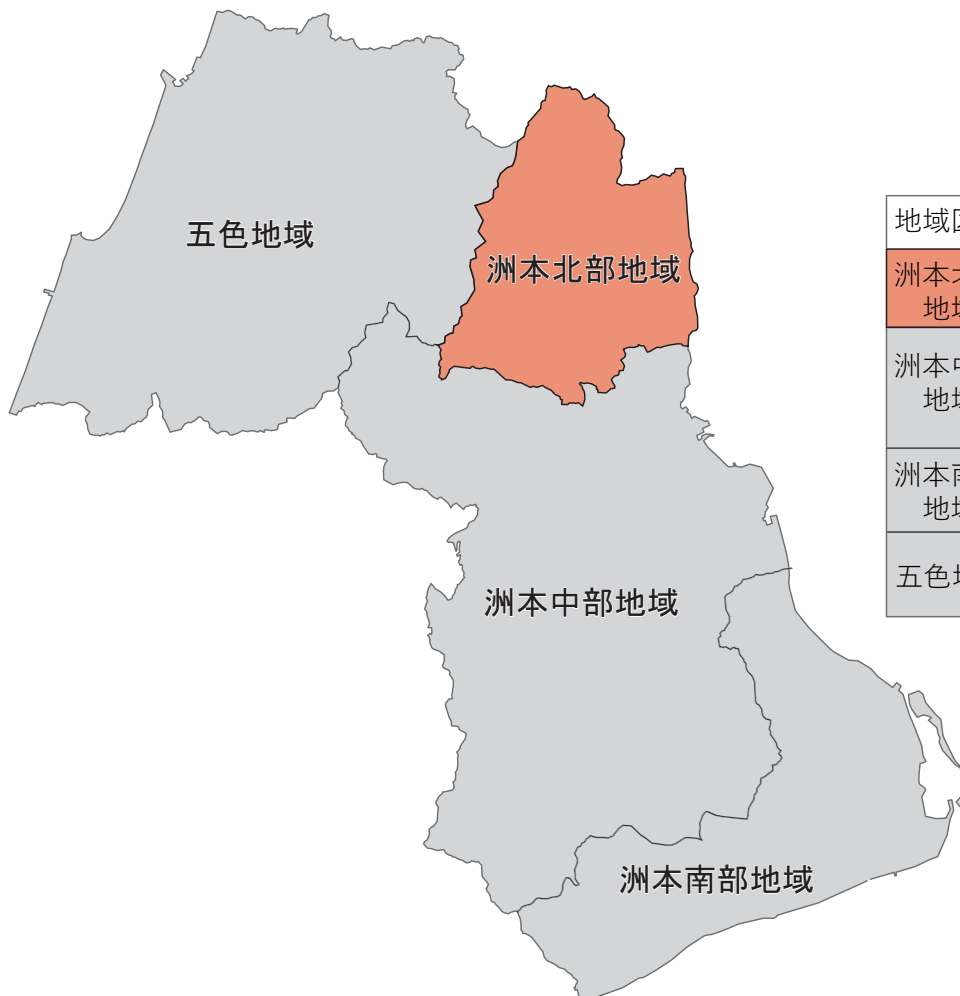
■地域区分図

5① 洲本北部地域

(1) 地域の情報

■洲本北部地域の情報

道路	高速道路,IC	神戸淡路鳴門自動車道、淡路島中央 SIC
	一般国道	国道 28 号
	主要地方道・一般県道	主要地方道洲本五色線、一般県道上内膳塩尾線、一般県道明神安乎線、一般県道安乎鮎原線、一般県道多賀洲本線
	その他の主な道路	—
主要な施設		洲本市教育センター、龍谷フロードソーラーパーク洲本
文化財・観光資源		安乎浜、厚浜、厚浜水大師、蓮花寺（五百羅漢）
自然、公園		先山から続く瀬戸内海国立公園



地域区分	該当地区
洲本北部地域	中川原・安乎
洲本中部地域	内町・外町・潮・物部・上物部・小路谷・千草・加茂・大野・納・鮎屋
洲本南部地域	上灘・由良
五色地域	都志・鮎原・広石・鳥飼・堺

■位置図

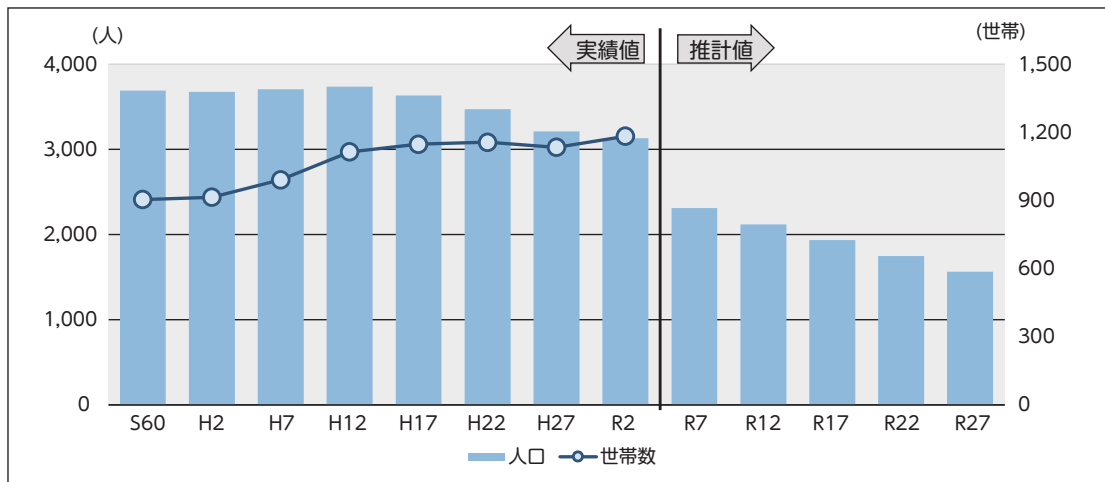
(2) 地勢

- ・本地域は、市域の北東部に位置し、淡路市に接しています。
- ・内陸部は森林・丘陵地及び農地が広がっており、東部は大阪湾に面しています。
- ・地域内の臨海部を国道 28 号、中央部を神戸淡路鳴門自動車道、(一) 上内膳塩尾線が縦断しています。

(3) 人口・世帯数及び将来人口の推移

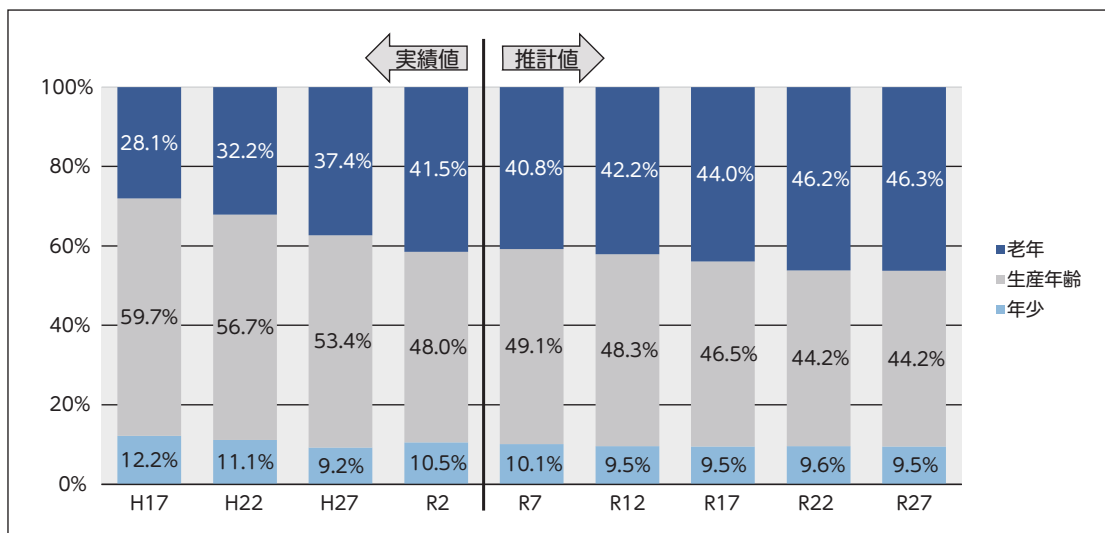
人口の動向はほぼ横ばいで、昭和 60 (1985) 年と比べ、わずかに減少していますが、世帯数は増加傾向にあります。

令和 2 (2020) 年の老年人口 (41.5%) は、市平均 (36.8%) より高いですが、生産年齢人口の構成比 (48.0%) は市平均 (51.7%) を下回っています。



■人口・世帯数の推移

出典：実績値；国勢調査結果
推計値；国立社会保障・人口問題研究所（平成 30（2018）年）推計結果



■年齢三区分別人口の推移

出典：実績値；国勢調査結果
推計値；国立社会保障・人口問題研究所（平成 30（2018）年）推計結果

(4) アンケート結果概要

人口	<ul style="list-style-type: none"> ・定住意向割合：約 <u>67%</u> (全市：約 60%) ▲ ・住み心地に対する満足度：「若者が定住しやすいまちづくりの推進」において不満の割合：<u>83.0%</u> (全市：83.4%) ▼ ・人口減少高齢化の進展：「空き家や空地が増加する」 <u>62.5%</u> (全市：57.7%) ▲ ・まちづくりに重要なこと：「若者が定住しやすいまちづくりの推進」 <u>9割超</u> (全市：9割超)
産業	<ul style="list-style-type: none"> ・転出する(したい)理由：「働く場所がない」 <u>14.3%</u> (全市：28.2%) ▼ ・淡路島中央 SIC 周辺の土地利用：「観光交流施設の設置 (<u>37.5%</u>) (全市：38.3%)」 ▼、「企業の誘致 (<u>16.1%</u>) (全市：26.4%)」 ▼
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ・住み心地の満足度：「空き家・空き地」で不満割合：<u>80.8%</u> (全市：84.5%) ▼ ・「大規模未利用地の活用」で不満割合：<u>82.0%</u> (全市：78.5%) ▲ ・土地利用の進め方：「市街地の空き地などを有効利用する」 <u>35.7%</u> (全市：36.8%) ▼
建築施設分布	<ul style="list-style-type: none"> ・転出する(したい)理由：「生活が不便」 <u>85.7%</u> (全市：56.5%) ▲ ・徒歩で行ける範囲で充実させたい施設：「食料・日用品店舗 (<u>39.3%</u>) (全市：42.1%)」 ▼と「診療所、医院 (<u>30.4%</u>) (29.4%)」 ▲
都市施設	<ul style="list-style-type: none"> ・住み心地に対する満足度：「都市施設(河川、公園、道路)の維持」で満足割合 <u>32.7%</u> (全市：43.1%) ▼ ・<u>30代</u>の <u>33.3%</u> (全市：40.0%) が「公園、緑地」を徒歩圏で充実させたい施設 ▼
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりに重要なこと：「防災(耐震・避難場所等)」 (<u>8割超</u>) (全市：9割超)、▼「治水対策」 (<u>9割超</u>) (全市：9割超)

(5) 地域の課題

- ・大阪湾沿いの一部で人口の集積が見られるものの、地域全体で将来にわたり人口減少傾向が続くと想定されることから、居住環境の維持向上をはじめ集落機能の維持について、効率的な機能再編の検討が必要です。
- ・用途白地地域である安乎地区の沿岸部では、農地転用、新築の増加が顕著であり、建築のルール化の検討が必要です。
- ・淡路島中央 SIC 等の整備により地域のアクセス性は高まりましたが、地形や土地利用の制約を考慮した上で SIC 周辺の有効活用が必要です。
- ・地域はほぼ全域を農村環境保全の土地利用が占めており、農地の維持・保全等、農業生産環境の維持が必要となっています。
- ・高齢化による農家の担い手不足、耕作放棄地の増加、鳥獣被害などが深刻な問題となっています。
- ・大雨や災害時には、岩戸川沿いにある土砂災害の恐れがある区域の対策や、ため池の整備などが必要となっています。
- ・住民意向では、不便であることを転出の理由に挙げている意見が他地域より多く見られました。

(6) 地域の将来像

都市へのアクセスの良さを活かしたまちづくり

(7) 地域づくりの基本方針

1) 土地利用の方針

- ・公民館周辺は、地域の拠点となっており、特に生活上重要となる健康・福祉機能の充実を図ります。
- ・足りない都市機能については、各地域拠点または隣接市との連携によって相互補完します。
- ・空き家については、空き家を除却していくだけでなく、ゆとりある暮らしのための活用などを検討するとともに、危険な空き家については適正な管理に向けた指導を行います。
- ・産業の集積や企業誘致に加え、地域産業の振興や人材確保、さらには起業支援や新産業の創出を支援します。
- ・地域の特徴的な産業である農業や観光業といった地場産業の育成を図ります。

2) 道路・公共交通の方針

- ・地域を縦断する神戸淡路鳴門自動車道については、淡路島中央 SIC を核として、京阪神方面や四国方面との連携の強化を図ります。
- ・公共交通空白地の解消・減少に向け、市民ニーズに合致した移動手段の路線検討とともに、新しいモビリティの導入による活性化支援や、周遊観光行動に対応した移動手段の整備を検討します。
- ・新たな情報通信技術の活用によって、路線バスの効率的な運行を図ります。
- ・ネットワークの連続性の観点から、アワイチルートの整備を目指します。

3) 公園・下水道等の整備方針

- ・公園等は、災害時の避難場所としてだけでなく、心と体の健康を保ち、感染症の拡大を防ぐなど、公衆衛生の観点からもより一層重視されつつあるため、地域住民と連携しながら、維持管理の強化に努めます。

4) 市街地整備の方針

- ・魅力ある企業の誘致を進め、雇用の創出を図ります。特に神戸淡路鳴門自動車道・淡路島中央 SIC 周辺への企業誘致においては、近隣環境と調和した、計画的な土地利用を推進するとともに、産業・流通、グリーンツーリズム等の機能強化、及び沿道商業機能の充実を図ります。

5) 自然環境等の保全の方針

- ・安乎・中川原地区の一部では、農業生産基盤の整備を進め、優良農用地の確保・保全を図ります。また、自然と共生する快適でゆとりある住環境の維持・創出による良好な集落景観を形成し、多自然居住の推進により地域の活性化を図ります。
- ・豊かな自然を枯渇させることがないよう、市街地内外において環境負荷が少ないまちづくりを進めます。
- ・農地を維持するため、鳥獣害対策の強化や担い手の育成などに加え、農地の集積・集約化を推進します。また、他業種との連携も図りながら、農村地域のコミュニティ維持に努めます。
- ・安乎・中川原地区の臨海部では、海域と陸域が一体的に調和した、良好な自然環境を活かした交流の場としての活用を推進します。

6) 景観形成の方針

- ・美しい景観づくりに共感する都市住民との交流を進めます。また、農地・里山を管理・整備する担い手を育成することによって、里山や海岸の景観保全に取り組みます。

7) 安全安心の方針

- ・可能な限り、災害リスクの低い区域への居住を誘導するとともに、災害リスクの高い地域においては、土地利用規制等を検討するなど、適切な土地利用を図りつつ、都市の防災性の向上に努めます。
- ・岩戸川の洪水対策とともに、土砂災害対策や地域に多数存在するため池について、防災対策を推進します。
- ・指定緊急避難場所及び指定避難所では、必要な防災機能の確保に向けた取り組みを進めます。
- ・ハザードマップなどを活用し、災害時の危険性が高い地域や、避難方法などに関する情報提供及び意識啓発に取り組みます。また、地元消防団等との協働による防災・減災対策を推進します。
- ・自主防災組織の強化に取り組みます。
- ・身近な生活道路の整備や適切な維持管理を図るとともに、歩道、通学路の整備や幹線道路の整備を促進し、生活道路への流入車両の抑制を図ります。
- ・カーブミラーについては、その維持管理に努めることに加え、新たに認められた箇所や、見通しの悪い箇所については随時設置を進めます。あわせて、街灯の維持管理を徹底するなど、交通安全施設の整備を推進します。
- ・感染症対策のための、新しい生活様式に対応したまちづくりを検討します。

8) その他まちづくりに関する方針

- ・公共施設や遊休地等の既存ストックを活用し、民間企業等の人材やノウハウを活用するなど、活用可能な資源を総動員し、効率的なまちづくりを推進します。
- ・行政、企業、住民の協働による、新しい時代のまちのマネジメントを目指します。
- ・町内会組織の活性化に取り組みます。

(8) 地域のまちづくり方針図



■地域別方針図（洲本北部地域）

凡 例		【交通体系】	【景観形成】	【自然環境等の保全】
【土地利用】		<ul style="list-style-type: none"> 主要幹線道路 都市幹線道路 地域幹線道路 補助幹線道路 環状道路 航路(検討中) 	<ul style="list-style-type: none"> 市街地景観 歴史的景観 自然景観(風致地区) レクリエーション景観 農山漁村景観 景観形成地区 広告景観モデル地区 緑条例における計画整備地区 	<ul style="list-style-type: none"> 田園集落 森林・丘陵地 瀨戸内海国立公園
<ul style="list-style-type: none"> 広域都市機能誘導ゾーン 都市機能集積ゾーン 生活利便ゾーン 居住誘導ゾーン 居住ゾーン 工業ゾーン 住工協調ゾーン 沿道産業ゾーン IC周辺ゾーン 観光交流ゾーン 農村環境保全ゾーン 自然環境保全ゾーン 	<ul style="list-style-type: none"> 都市機能を誘導する範囲の整備 居住を誘導する範囲の整備 防災対策の推進 インターチェンジ周辺の産業拠点形成 公有水面埋立事業 開発許可による開発 住宅団地開発(町施工) 	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設 公共下水道認可区域 公共下水道供用済区域 特定環境保全公共下水道供用済区域 	<ul style="list-style-type: none"> 【安全安心】 指定避難所 警察署 消防署・消防団施設 病院 準防火地域 	
			<ul style="list-style-type: none"> 【公園・下水道等】 	<ul style="list-style-type: none"> 【その他】 都市計画区域 用途地域界 行政界

■洲本北部地域におけるおおむね 10 年以内に整備を予定している主な事業等

砂防整備

名称	事業場所	概要
安坂北谷川	洲本市中川原町安坂	砂防堰堤工
安浦（2）地区	洲本市安乎町平安浦	待受擁壁工

海岸整備

名称	事業場所	概要
安乎中川原海岸	洲本市安乎	離岸堤 600m

ほ場整備

名称	事業場所	概要
市原	洲本市中川原町市原	区画整理 A=16ha

公共交通

名称	事業場所	概要
公共交通網	洲本市中川原	地域内交通の導入
公共交通網	洲本市安乎	地域内交通の導入